

交通局は、市バス・地下鉄の施設や車両等を有効活用することで収入を得ています。

具体的には、局施設・車両内などにおける広告媒体の提供、賃貸ビルの貸付け、駅構内におけるお客さまの利便性向上のための店舗・自動販売機などの設置などにより収入を得て、それを市バス・地下鉄両事業の健全な経営の一助としています。令和5年度は約56億円の収入がありました。

■ 広告事業

市バス・地下鉄は、市域のほぼ全域で毎日多くのお客さまにご利用いただいていることから、広告効果が高く、多くの皆さまに広告を掲出していただいています。

市バスでは、車体全体に広告をデザインする「ラッピングバス広告」、車体外側に看板を掲出する「外側板広告」、車内窓上にポスターを掲出する「額面広告」などにより、広告料収入を得ています。

地下鉄では、全車両に掲出される「中吊広告」、動画等による情報発信が可能な複数面のデジタルサイネージ「スクエアビジョン広告」、主要駅の構内で多数の柱に同時にポスターを貼る「駅マルチ広告」、総延長94mにわたる「名古屋駅ビッグウォールセット広告」、PRスペースを兼ね備えた大型ボード「名古屋駅サンフラワーボード広告」などにより、広告料収入を得ています。

また、新しい媒体として、地下鉄東山線車内に「ナゴヤサブウェイビジョン広告」を設置したほか、「名古屋駅南改札ビジョン広告」を設置しました。



ラッピングバス広告



名古屋駅スクエアビジョン広告



栄駅スクエアビジョン広告



名古屋駅南改札ビジョン広告



ナゴヤサブウェイビジョン広告

■賃貸ビル・地下街等

通勤や通学のお客さまが毎日多くご利用になる地下鉄駅やバスターミナルの敷地に建設したビルを賃貸するとともに、駅構内のスペースを地下街として有償で使用を許可しています。また、地下鉄換気口用地等を駐車場用地などとして賃貸しています。

■店舗・自動販売機等

地下鉄駅やバスターミナルにおいて、お客さまの多様なニーズに応じて、店舗・自動販売機・ATM・モバイルバッテリーレンタルスタンド・宅配ロッカー・インフォメーションボックス等を設置しています。



藤が丘駅店舗

■伏見駅ナカ商業施設

伏見駅構内において、駅の利便性及び魅力向上を図るため、「ミチからマチへ～ Fushimi Crossing Place～」を事業コンセプトに、多数の店舗を一体的に展開する駅ナカ商業施設「ヨリマチ FUSHIMI」を整備し、令和元年12月11日に開業しました。「普段使いをより魅力的に」をテーマに、駅利用者の日常生活に魅力を添える商品やサービスを揃えた店舗が出店しています。



■携帯電話等通信

お客さまに携帯電話等をご利用いただけるよう、通信事業者等が地下鉄駅及びトンネル内の局施設を有償で使用し、通信環境を整備しています。